



2023年5月31日

各 位

会 社 名 株式会社ジオコード  
代表者名 代表取締役社長 原口 大輔  
(コード番号:7357 東証スタンダード)  
問合せ先 専務取締役管理部長 吉田 知史  
(TEL. 050-1741-0214)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、関東財務局に提出いたしました2023年2月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2023年4月10日付「調査委員会の設置及び2023年2月期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、2023年2月期（以下「当事業年度」という。）の決算作業の過程でWebサイト制作取引の一部について、取引が未完了であるにもかかわらず、売上を不適切に前倒し計上している可能性を認識したため、調査委員会を設置し、調査を実施いたしました。

そして、2023年5月26日付「調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、調査委員会による調査の結果、当社元従業員が売上を前倒し計上するために証憑等を偽造又は改ざんしていた事実等（以下「本件事案」という。）が確認されたため、当社は、2023年2月期第2四半期決算及び第3四半期決算について、Webサイト制作取引の売上計上時期その他関連する数値の一部訂正を行いました。

また、調査報告書では、売上目標達成に対するプレッシャーと慢性的な人材不足を背景に、該当事業部門における業務管理・マネジメント不足及び業務手順の教育不足、並びに該当事業部門及び管理部門における内部統制機能の脆弱性等が本件事案の発生原因であると報告されており、当社は、Webサイト制作における売上計上及び債権管理の業務プロセスに係る内部統制の一部が有効に機能しておらず不備があったものと認識しております。

以上のことから、当該不備については財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

#### 2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記の開示すべき重要な不備については、本件事案の認識が当事業年度の末日後であったため、当事業年度の末日までには是正することができませんでした。

### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を十分認識しており、開示すべき重要な不備を是正するため、調査委員会の再発防止に向けた提言を真摯に受け止め、以下の各項目について再発防止策を策定・実行し、適切な内部統制の整備及び運用を図ってまいります。

- (1) コンプライアンス体制の再構築と社内教育
- (2) 業務分掌及び職務権限の整理、適正な運用
- (3) 本件事案に関連する業務プロセスの見直しと運用のモニタリング
- (4) その他、組織的・継続的な改善活動による内部統制の強化

### 4. 財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、すべて財務諸表に反映しております。

### 5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上